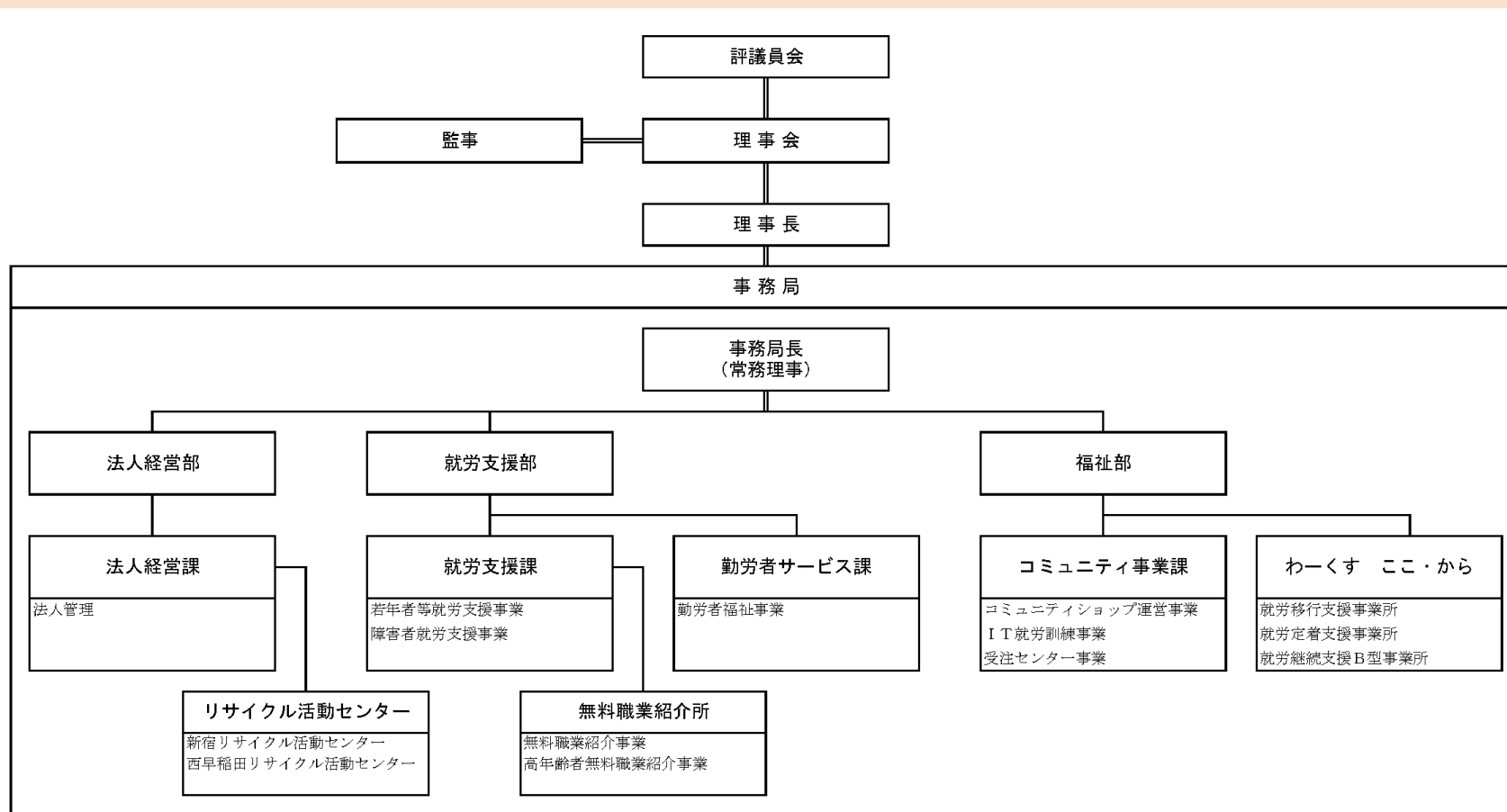


多機能型事業所の就労への取り組みについて

長峯 彰子（公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター
わーくす ここ・から サービス管理責任者）

公益財団法人 新宿区勤労者仕事支援センター 組織図



財団ミッションは…

**「働きたい」「社会に貢献したい」
という思いをかなえ、「働き続ける」
ことを応援します！**

わーくす ここ・からに通いたい人たちも…
「**働きたい**」気持ちのある方々である。

でも…

利用者の方々の事業所に対するニーズや
特性は一律では無い。

わーくすここ・からの利用者を 大きく分けると

就労を目指す者
(就労移行支援/
就労継続支援B型)

**日中活動の場として
利用する者**
(就労継続支援B型)

就労移行支援事業(エール)

障害のある人が就労を通じて、自立的かつ充実した社会生活を送られるよう、その人の状況や特性に応じた職業適性を見出し、職場探し等も行なっている。

定 員：現在10名

主な作業：清掃作業、軽作業、パソコン作業

全員が就労を希望している

就労継続支援B型（スマイル）

一般企業への就職が困難な障害のある者に、雇用契約を結ばずに、就労機会を提供すると共に生産活動を通じてその知識と能力の向上に必要な訓練などを実施している。
様々な障害や難病を持つ人が通う事業所である。

定 員：現在30名

主な作業：清掃作業、軽作業

スマイルに通所している利用者の内、
約2割が就労を希望している。

この2割の人達もかなりの個別支援を要する人たちがほとんどで、一朝一夕に就職できるような人ばかりではない。
今回の事例の利用者もここに該当する1人である。

Aさん

就労面:就職希望

生活面:一人暮らしを希望

当面は…

グループホーム:生活に必要なことを学ぶ。

スマイル:就労を目指す

という形でスタート。

しかし…

グループホームで過ごせるのは**3年**
と年限があった。



そのため

就労と一人暮らしの移行時期が一緒になるこ
とだけは避け、計画を立てることでグループ
ホーム側とも合意。

就労に関しては…

本人が就労生活に求める収入以外の部分
も含めて考え、支援していくことにした。

(1)生活面・通所状況に関する支援結果

通 所 状 況 ： 毎日通所していた。

生活に関して：お金の使い方や、買い物のルーティーン等はすぐに体得していた。

しかし…

2、3ヶ月経過した頃…

「買い物の際につけられている。」「散歩に行くと自分のことを待ち伏せしている。」等の被害妄想が表れるようになった。

対応策

Aさんにその対象（妄想の中の人物）が、何かしてくるのかどうか毎日確認。直接の接触がないことから、こちらを意識しないようにしていくことにした。

(2)就労支援に関する支援結果

Aさんは働きたい気持ち強いものの**就労経験がない**ため、自分が仕事に就くイメージが持てなかった。

対応策:イメージ作りを行う

1. 自分の快・不快、好き・嫌いの理解を行う。
2. 本人が働くイメージにつなげて行く。

見えてきたこと

仕事中には人との関わりを求めないが、
人のためになる仕事が良いという希望

わかったこと

体力面でも体を動かすことが好きであっ
たり、軽作業についても問題なく行える
こと

最終的に

統合失調症の症状が、就労に際しては1番の壁になっていたが、場面に応じてその症状を無視するトレーニングをすることで、一定時間は過ごせることがわかり、それを踏まえて、就労先の選定を行なった。

企業実習

就労に関する支援結果を元に、就労先の選定を行い、**障害者の入所施設**に決定した。

選定後…

施設の望む就労条件と本人の能力のすり合わせをし、企業実習を行なった。

実習をしていく中で分かったこと

本人が複数の人から指示される状況での対応が難しいことがわかった。



対応策として

- ・ 指示出しは1人の人に固定する。
- ・ 本人が行う作業はルーティーン化する。
- ・ 本人は開始・終了報告を行う。

これらのことを整備し、職場で
の本人の不安や戸惑いを減らし、
働ける環境を整えた。

考察と分析

就労面だけでなく、本人の好き・嫌い
や仕事に求める充実感などまで掘り下
げて考えたことで、就労までが早かつ
たと考えられる。

また、本来は、企業の求める人材像に合う人を送り出すが、今回は募集に際して本人が「**人のためになる、そこで働きたい。**」という希望ありきで話を始めたところと「**単に働く場としてではなく、本人の気持ちの満足が得られる就職の実現**」という点に企業側の理解が得られ、実現したものである。

最後に…

病気に罹患している状況や現れる症状がある場合でも「働きたい」気持ちがあり、オーダーメイドな環境を整え、企業側も当事者の「働きたい」気持ちに理解を示してくれれば、就職は実現できる。